

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般レストラン（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・客の表情が明るく、1万円札やクレジットの支払いが増えている。 ・会社関係の接待で利用する客も増加しており、将来的には良くなる。 ・9～11月は保険会社からの予約が結構入っている。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・大手デパートのリニューアルの動きが話題になっており、それに対する他のデパートの動きにも期待が高まっているため、その影響が出てくる。
		衣料品専門店（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・早めに寒くなってくると客も動くので、メンズ衣料が今から伸びてくる。 ・高くて手が出ないものは、冬のボーナスまで待つ客が今後増えそうである。
		家電量販店（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンのリサイクル法施行に伴う駆け込み需要や、液晶、プラズマテレビの販路拡大から良くなる。
		住関連専門店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・秋のブライダルフェアに向けて、計画を推し進めるため、来客数が増加する。
		その他専門店〔贈答品〕（店員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル関係、特に引出物の売上がやや好調である。 ・週末の店内はこれから式を迎える若いカップルの姿が目立つようになっている。
		都市型ホテル（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の婚礼の予約状況は、昨年を下回っており、やや厳しい状況だが、10、11月は順調に受注している。 ・9、10、11月の客室の予約状況は堅調に推移している。
		旅行代理店（団体営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・SARS、イラク戦争の影響がなくなり、例年と同じような状況である。
		テーマパーク（業務担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・来園を前提とした2か月程度先の問い合わせが増えてきている。
	変わらない	商店街（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> ・この夏同様、季節物の動きにあまり期待が持てそうにない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・今だに厳しい状況が続いており、中元等の売上も年々減少しており、この傾向は当面変わりそうにない。 ・新しい流通ルートの開拓や、新しい形での商売のあり方などを検討し始めている。
		百貨店（統括）	<ul style="list-style-type: none"> ・単価の動きは気になるが、紳士関連の来客数などはあまり気候に左右されない。
		百貨店（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・新ブランド導入やリニューアルなど、来店促進策実施による売上向上の期待がある一方、秋物の動きに不安が残る。
		百貨店（販売促進担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・客の所得が増えない以上、慎重な購買姿勢は変わらないので、今後についても大きな変化はない。
百貨店（売場担当）		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで減収部分をコスト切詰めにより補完する増益策を採っていたが、9月からはモデルチェンジや広告媒体などを積極的に用いた、増収を目指す動きが目立ってきている。 	
百貨店（売場担当）		<ul style="list-style-type: none"> ・現在秋物の動きが鈍く、人気商品も出てくる気配がないため、見通しはかなり厳しい。 ・近郊百貨店では、例年大々的に野球の優勝セールを行うので、そちらへ客が流れ、当百貨店の状況は厳しくなる。 	
百貨店（売場担当）		<ul style="list-style-type: none"> ・外商活動等の高額品の売上は、ある程度の水準で推移するが、店頭前売品の売上は非常に厳しく、なかなか下げ止まりはしない。 	
スーパー（店長）		<ul style="list-style-type: none"> ・客は、必要な物を安いときに安い店で必要な量しか購入しない傾向が今後も続く。 	
スーパー（店長）		<ul style="list-style-type: none"> ・夏季賞与の減額等による買い控え、気候による盛夏服の売上低調、鮮魚離れにもかかわらず、他品目への移行は全くみられない。 	
スーパー（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況のなかで、特に上向きになるよう傾向が見受けられない。 		
スーパー（店員）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は物の単価の上昇に伴い、売上高も上がっているように見えるが、客の購買力はそれほど変わりがいないため、今後単価が下がると、売上高も例年を下回る恐れがある。 		
コンビニ（エリア担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はやや回復傾向がみられるが、客の財布のひもは依然固く、余分な物を買わないため、現状並みで推移する。 		
衣料品専門店（地域ブロック長）	<ul style="list-style-type: none"> ・気温などの関係で売れる時期が多少前後するが、景気はあまり変わらない。 		

	家電量販店（予算担当）	・健康関連商品や高付加価値商品が伸びるが、パソコンのリサイクル法施行が売上の低下に影響することも予想され、楽観視できない。	
	乗用車販売店（販売担当）	・買い控えて5、6、7月と、例年を大きく割るような受注状況が、8月は100%近くまで回復する一方で、買換えのサイクルは長く、客の財布のひもが固い状況は続く。	
	乗用車販売店（営業担当）	・秋に向けて新商品の発表を控えているが、それに見合う来客数があるかどうか不安が大きい。	
	一般レストラン（店長）	・2、3か月先の予約状況があまり思わしくない。	
	その他飲食〔ハンバーガー〕（エリア担当）	・客の収入が変わらない状況で、若者の食への支出は減少傾向にある。	
	旅行代理店（経営者）	・SARSも影響が薄れてくるものと思われるが、9、10、11月の予約は例年の20%減となっており、今年は非常に不透明感がある。	
	タクシー運転手	・市内でタクシーが200台以上増車しており、その影響を受けて、ドライバー1人当たりの売上はややマイナス傾向にある。	
	通信会社（通信事業担当）	・何かキャンペーンをしてもその前後が落ち込み、結果的には代わり映えしないことが多く、10月からキャンペーンをする予定はあるものの、どの程度反響があるか予想しにくい。	
	レジャー施設（営業企画担当）	・日帰り温泉部門の前年割れが恒常的なものとなり、非常に危機感を募らせている。飲食部門、ホテル部門は新規客の利用が徐々に増え始めたが、宴会・宿泊の予約状況は依然厳しい。	
	住宅販売会社（経理担当）	・新規物件の契約数が予想を上回っており、今後の新規発売物件も同様の成果が期待できる。	
	住宅販売会社（販売担当）	・イベント関係、展示場の来客数が増えない。	
やや悪くなる	百貨店（電算担当）	・秋物の衣料品が動き出したが、婦人、紳士衣料品関係の売上が例年に比べて10%減少しており、来客数も減少している。法人、個人消費ともに消費が冷え込んでいる。	
	スーパー（店員）	・客は相変わらず必要な物を必要なだけ、安い物を選んで買うという傾向は変わらない。このところの天候不順で野菜などは高く物が悪い状況が続いているので、どちらかといえば悪くなる。	
	スーパー（総務担当）	・現在でも売上は低調だが、競合他社の特売単価が下がっており、値合わせを余儀なくされたため、一層販売額、利益額を圧迫しており、販売数量の割に利益が出ない悪循環が続くそうである。	
	乗用車販売店（総務担当）	・先月の販売動向では法人関係の受注は動いているものの、一般消費者の受注はまだない。	
	住関連専門店（広告企画担当）	・自社取扱い商品は区切り時期に買う客が多いが、その区切りの際にもかなり厳しく単価を抑えようという動きが止まっておらず、客の先行きの不安や、予算不足など一般家計の現状が現れている。	
	その他専門店〔時計〕（経営者）	・品物を新たに買うというより、リフォーム、修理、作り替えに関心を持っている客が多い。	
	都市型ホテル（従業員）	・レストランや宿泊の予約状況があまり良くない。	
	住宅販売会社（従業員）	・来場数は横ばいだが、販売単価や販売総額が下がっており、客にも今一歩進んだ反応がみられないのでやや悪くなる。	
悪くなる	一般小売店〔靴〕（経営者）	・店頭での商品の売行きが悪い。販売元やメーカーが非常に弱くなっており、倒産する会社が増えている。	
企業動向関連	良くなる	-	
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・需要の反動で生産量が減少していたが、次の山が現れるので、ならし生産を開始する。
		鉄鋼業（総務担当）	・8月の受注でも自動車関連材料は引き続き堅調に推移しており、エレクトロニクス材料にもやや動きが出始めていることから、若干上向きの傾向が出てきている。特に半導体関連の材料は、予想通り9月以降の増加が見込まれており、全体をけん引する動きをみせている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・新製品の受注増加に備えて既存製品の一部を社外委託することが決定している。

変わらない	金融業（業界情報担当）	・地場の自動車メーカーにおいて、収益はコスト的に厳しく、低い伸びになるとともに、これ以上為替が円高に振れると輸出減少が避けられずリスクはあるものの、新型車の量産化により操業が一段と高まると期待できる。	
	その他サービス業〔清掃具レンタル〕（情報管理担当）	・売上の成長率をみると、4、5、6、7月と売上が回復している。この2、3年をみても、一番の成長率で回復傾向を感じられる。	
	化学工業（総務担当）	・経費節減や業務の合理化、効率化等の社内体制の整備により、昨年に比べ少し利益が出るようになってきているが、依然として景気が厳しい状況は変わらない。	
	鉄鋼業（広報担当）	・内需の低迷、中国を中心としたアジア向け外需が引き続き堅調という構図にあまり変化がみられない。	
	非鉄金属製造業（経理担当）	・需要は徐々に回復してきており、今後もその傾向は続くが、販売価格の下落も続くため、回復の見込みは全くない。 ・新規製品に関しては明るい見通しもある。	
	電気機械器具製造業（広報担当）	・一部では販売価格引上げの動きがみられるが、今後液晶の生産能力等が拡大してくるので、大きな値上がりは期待できない。	
	輸送業（営業担当）	・メール便等で取扱量自体は増えているが、単価の下落が激しいため、売上が上向いていても、状況的に決して良いとは判断できない。	
	通信業（営業企画担当）	・最近の通信ブロードバンド化は一種のブーム的な傾向が感じられ、必ずしもニーズが明白ではない。 ・利用目的やコンテンツなど提供側の手探り状態で推移しているため、今後の状況は不透明である。	
	金融業（営業担当）	・仕事を選べる状況ではなく苦しい状況だが、ベンチャー企業のプレゼンテーションの機会も若干増えてきており、中小企業の中でも技術を持った所が、商品化を行って販売先を求める動きが出てきている。	
	不動産業（経営者）	・部屋の空室率を低下させるためには修理を必要とするが、金利が非常に上昇している感じがあることから、なかなか借入れが難しく、部屋は空くが修理ができないという状況である。	
コピーサービス業（管理担当）	・固定客からの売上は若干減少傾向にあるが、それを補う単発的な仕事が確保できている。		
やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・和風日記については業界全体が落ち込んでおり、低価格の商品も動かない。 ・付加価値の高さを考慮に入れた新企画の商品を出すのが、伸び悩んでいる。 ・業界ではオンリーワン商品の開発をテーマに、各社とも取り組んでいるが、客のニーズが今一歩つかみ切れていないため、先行きがみえない。	
	化学工業（総務担当）	・原料価格が上昇しており、上昇分を製品価格に転嫁できなければ収益的に厳しくなる。	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	・国内での売上に、冷夏の影響が少なからず発生する見通しである。	
悪くなる			
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・人材派遣需要は製造業とIT関連を中心に上向きつつあるとともに、大型店舗の進出等もあってスポット的な人材需要が出ているため、今後も需要は上向く。
		職業安定所（雇用開発担当）	・求人数が増加しているなかで、特に製造業がかなり伸びている。 ・建設業はあまり伸びていなかったが、前月の4%程度増加しており、良い傾向にある。
	変わらない	求人情報誌製作会社（統括）	・例年春の採用と秋の採用という大きな山があるが、今年に関しては秋の採用がそれほどなく、1年を通して平均的な採用になってきているため、景気もそれほど上向かない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人情数と募集ニーズがアルバイトとパートの部門で伸びつつある。
職業安定所（職員）		・パート求人増加で求人全体は増加しているが、求職者の減少傾向はみられない。	
民間職業紹介機関（職員）		・リストラが一段落したところでの求人募集なので、単純に上向きと判断はできないものの、新規採用できるということはそれだけ余力もある証拠である。	
	民間職業紹介機関（職員）	・世帯主求職者の就職がうまくいかず、直近の家計状況に困っている人も少なくない。	

やや悪くなる	職業安定所（職員）	・大手電気メーカー製造工場の大幅なリストラ計画が発表され、新規求職が引き続き高水準で推移することが確実となっている。
	職業安定所（職員）	・9月から12月にかけて人員整理を予定している事業所がある。
	学校〔大学〕（就職担当）	・業種、職種等、求人の内容に偏りがある。 ・正社員の求人が増えなければ、景気の向上にはつながらない。
悪くなる	-	-